

インフォメーション

申込み・問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp

マチノワ緑日～明日をゆさぶる3日間～

日時：8月25日(土)～8月27日(月) 一人ひとりのまちへの思いをゆさぶり、新たな一歩を後押しすることを目的にトークイベント、
会場：仙台市市民活動サポートセンター 企業の市民活動や社会貢献活動の紹介、縁をつなぐ交流会などを3日間にわたり開催します。

期間中のイチオシをご紹介します！

社会を変えよう

着想をゆさぶる 「社会を変える」政治の使い方実践講座

日時：8月25日(土) 15:30～17:30
会場：地下1階 市民活動シアター
講師：NPO法人グリーンバード 代表／港区議会議員 横尾俊成さん
定員：50名
参加費：無料 要申込

この国が抱える様々な問題が表面化した今、仙台でも多くの人が市民活動を始め、多様な取り組みをはじめています。今回は「社会を変える」のはじめかた 僕らがほしい未来を手にする6つの方法」の著者で、広告代理店勤務、NPO法人代表を経て、議員活動も行う横尾俊成さんをお招きします。「社会を変える」を切り口に、様々な手段をつかって社会を動かす方法を学ぶ講座です。



はじめよう

日常をゆさぶる ハジマルフクラムプロジェクト～今までは一味違う自分に出会う～

日時：8月26日(日) 13:00～15:00
会場：1階 マチノワひろば
ゲスト：一般社団法人SC.FIELD 代表 大坂ともおさん
NPO法人ファザリング・ジャパン東北 代表理事 竹下小百合さん
定員：15名
参加費：無料 要申込

日常にある社会課題の解決に取り組んでいるゲストを迎え、参加者と対話するトークイベントです。「自分の暮らすまちをもっと良くしたい」「自分の得意なことを社会に役立てたい」という思いを実際に行動に移した方のお話を聞き、思いをカタチにするヒントを見つけてみませんか。



つながろう

協働のあり方をゆさぶる 土曜日の公園で話そう・この街の協働のあり方について

日時：8月27日(月) 16:00～18:00
会場：1階 マチノワひろば
定員：15名
参加費：無料 申込み不要
主催：西公園ミーティング実行委員会 仙台市市民活動サポートセンター

詩人で、西公園ミーティング実行委員会の武田こうじさんによる、「土曜日の公園で話そう」公開ミーティングを開催します。テーマは「この街の協働のあり方について」。近年いろいろなところで目にする「協働」という言葉。それをどのように捉えているのか、それぞれの立場から見えていることを、対話を通して考えていきます。



他にもイベント盛りだくさんです！詳しくはサポセンホームページやチラシ等で随時お知らせします。
お申込みフォーム：http://sapo-sen.jp/event/5441/
サポセンホームページに設置した申込みフォームよりお申込みください。サポセン窓口、TEL・FAXでも承ります。
先着順に受付し、定員になり次第締め切らせていただきます。※いただいた個人情報は、本企画および市民活動サポートセンターの事業以外では使用いたしません。
(共催事業につきましては、市民活動サポートセンターと共催者とで情報を共有しますが本企画および市民活動サポートセンター・共催者の事業以外では使用いたしません。)

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい／団体を立ち上げたい／組織運営の悩みを解決したい／他の団体や他のセクターと連携したい／自分のスキルを地域や社会に役立てたい...

今月の休館日 8月8日(水)、22日(水)	
開館時間	月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日	毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ / 地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分
[HP]http://www.sapo-sen.jp [Blog]http://blog.canpan.info/fukkou/ [Twitter]@sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

市民ライターや学生記者が、仙台の市民活動団体やワクワクビトを取材しています！

- ▶ 市民ライター
http://blog.canpan.info/fukkou/category_23/1
- ▶ 情報ボランティア@仙台
https://ja-jp.facebook.com/jyoho.volunteer.sendai

- ▶ 「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。
- ▶ ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート] サポセンホームページからアクセス
いただくか、携帯電話等で2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター
発行日 2018年8月1日
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 太田貴 菅野祥子 松村翔子 宮崎真央 鎌田みずほ 水原のぞみ
発行部数 3000部
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

ぱれっと 8

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2018 No.228

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の
ワクワク
ビト

コルジャ仙台 ブラインドサッカークラブ 選手
すずきりか
鈴木里佳さん(28)

スポーツで越えていく 障がいの壁

ブラインドサッカーは、選手がアイマスクを付けて視覚を遮り競技します。コート際に立つ監督やシュートを指示するガイドの声、鈴の入ったボールから出る音によって、視覚障がいのある人もない人も共にプレーできます。鈴木さんは女子日本代表選手の一人として国際大会でも活躍中。ディフェンダーとしてゴール前で果敢に相手からボールを奪います。鈴木さんは、生まれつき弱視で運動に苦手意識がありました。大学時代、先輩のすすめで競技と出会い、「視覚障がいがあってもダイナミックに走り、シュートする躍動感に魅了された」と、サポートスタッフとして参加しました。卒業後はコルジャ仙台の立ち上げに携わり、2017年、ブラインドサッカー女子日本代表チーム発足を機に選手活動の一步を踏み出しました。競技を通して自身の可能性が大きく広がり、人生が変わりました。「プレーヤー同士が障がいの有無を越えてプレーでき、相互理解につながる」。魅力発信に力を注ぎます。

取材・文 市民ライター 鈴木 はるみ

コルジャ仙台 ブラインドサッカークラブ

HP <https://www.corujasendai.com>
Facebook <https://www.facebook.com/corujasendai/>

2012年に設立されたブラインドサッカーのクラブチーム。国際大会では視覚障がい者のみが参加できますが、コルジャ仙台では小学生から社会人まで障がいの有無に関わらず幅広い選手が活躍しています。練習は毎週日曜日、主な拠点は、宮城県障害者総合体育センターです。競技の普及と視覚障がいに対する理解向上を目的に、学校や企業、イベント等でブラインドサッカーの体験会、視覚障がいに関する講話などにも力を入れています。

特集

隣土士の2つの商店街が

地域を活性化

連坊 × 薬師堂オモシロ街教室

隣同士の2つの商店街が地域を活性化 連坊×薬師堂オモシロ街教室

地下鉄東西線連坊駅と薬師堂駅の周辺には、それぞれに商店街があります。39店舗が連なる商店街を束ねる連坊商興会と、15店舗が加盟する薬師堂商興会は、隣同士。「商店街が地域から姿を消してしまうのでは」と危機感を抱き、2つの商店街が力を合せて取り組む「オモシロ街教室」を紹介します。

商店街を活性化して、
地域を活性化したい

連坊商興会

ちばたかお
会長 千葉隆夫さん



商店街を地域の人に
知ってもらいたい

薬師堂商興会

えさしけんじ
会長 江刺賢治さん



商店街同士の繋がりをつくりたい

仙台市経済局産業政策部地域産業支援課

<商店街共通課題解決モデル事業>



店を訪れるきっかけをつくる、暮らしに役立つミニ講座

「お役に立ちます、あなたの生活に」をテーマに、お店の人が先生になり、それぞれの専門知識や技術を伝える「連坊×薬師堂オモシロ街教室」。2つの商店街が連携し、昨年11月1日から11月29日まで開催した1回目は、仙台市の「商店街共通課題解決モデル事業」の助成を受けて実施。2回目となる今回は、5月15日から6月15日まで助成に頼ることなく開催しました。「店に入ってもらうきっかけにしよう」と、連坊商興会会長の千葉隆夫さんと薬師堂商興会会長の江刺賢治さんの呼びかけのもと有志24店舗が集まりました。かりんとう屋がする「接着剤のはなし」、くすり屋で「写真の撮りかた」など、個性豊かな講座30種類が並びました。店主とオモシロイひとときを過ごして人柄を知ってもらい、再来店の機会に繋げていくことがねらいです。

「なんとかしなければ!」と手をとりあった商店街

結成から今年で66年目の連坊商興会。かつては120店舗が軒を連ねていた商店街も、現在では39店舗に。千葉さんは「地域のコ

ミュニティの中核を担っていくことは商店街の役目」と、盆踊りや七夕祭りなど地域を盛り上げる様々な企画を行っています。一方、地域の魅力を発信しようと、2018年4月に結成した薬師堂商興会の江刺さんは、「商店街を知ってもらうためには、どんなことをしていけばいいのだろう」と模索していました。大型店やショッピングモールの進出、ネット通販など流通の変化を受け、商店街の存続はますます難しくなり、店舗数の減少に拍車をかけています。「商店街が活性化しないと地域も活性化しない」と千葉さんは懸念を抱いていました。

2人の思いを形にする機会を作ったのは仙台市経済局地域産業支援課(以下、地産課)でした。地産課は仙台市内にある65の商店街を訪れ、商店街ごとの取り組みや特徴、課題などを把握し解決のために必要な情報を届けています。また、商店街同士の繋がりがほとんどないという課題にも着目し、交流と情報交換の場づくりを行っています。「複数の商店街が連携することで、店同士の連携に繋がり、地域交流の場が広がるなど、様々な効果が期待できる」と地産課が千葉さんに提案。千葉さんが江刺さんに企画を持ち込んだことによって、2つの商店街の連携が実現しました。



連絡先 連坊商興会 〒984-0052 仙台市若林区連坊二丁目 9-37
TEL:022-291-0111 会長 千葉隆夫
薬師堂商興会 〒984-0047 仙台市若林区木ノ下 4-5-7
TEL:022-256-4068 会長 江刺賢治

※次回開催情報

「連坊×薬師堂オモシロ街教室」10月15日～11月15日

商店街だからこそできる、顔の見える関係をつくる

2回目の開催を終え、江刺さんは「お客さんから、次はいつ講座をやるのと問い合わせがあった。反応があることは何より嬉しい」と笑い、「店同士が繋がりはじめて、今では月1回ミーティングをするようになった」と商店街の変化を話します。「どんな人がある店なのか知ってもらえれば、安心して入れる。顔の見える関係は、有事の際にも役立つ。連携することで互いに店主の個性などを知るきっかけになった」と千葉さん。「連坊×薬師堂オモシロ街教室を今後も継続していきたい」と2人は意気込みを新たにしています。その先の未来には地域の人たちの笑顔を描きます。「誰もが安心、安全で暮らせる地域を商店街から発信していきたい」と千葉さんも江刺さんも思いは同じです。(取材・文 松田照子)

ここチェック

まちに恋して、まちづくりを学ぶ

～WE SCHOOL 2018 秋学期受講者募集中!～

WE PROJECT SENDAIは「楽しいまちは楽しくつくれ!」をスローガンに、市民協働のまちづくりを応援するプロジェクトです。連続講座や公開フォーラムを通じて、まちを面白くするコツやノウハウを習得し、自ら発信する力を養います。秋学期の受講生を募集中。仙台駅東口を舞台にまちを面白くするコンテンツを考えます。まちづくりのための仲間もみつかるかもしれません。講座は9月14日(金)から。応募締切は9月7日(金)。問い合わせ WEプロジェクト事務局
Mail info@we-sendai.jp HP http://we-sendai.jp/we/school/koi_east/

市民ライター 阿部えりこ

「今日も明日もぬいぐるみ日和 仙台巡回展」と題した写真展を観に、仙台市若林区の「くわの木カフェ」に行ってきました。壁には、国内外の観光地を巡った思い出の写真が70枚。イヌやウサギなどの可愛らしいぬいぐるみたちが観光地を背景にポーズをとります。写真展を主催したのは、横浜を拠点に活動するNPO法人日本ぬいぐるみ協会です。高齢、病気などの理由で、外出することが難しい方が大事にしているぬいぐるみを預かり、持ち主の代わりとなったぬいぐるみに旅をさせ、各地で撮影した記念写真と一緒に持ち主に返す活動をしています。全国に約90人いる会員が旅の案内人です。持ち主からは「自分が旅をしているみたいで楽しい」という声。心に活力も届けます。



▲会期中はぬいぐるみ達も遊びにきていました。

「ぬいぐるみを通じたネットワークを広げたい」と話すのは、理事長の小塚晴美さん。多忙で旅行にも行けない時期、自身が手作りしたぬいぐるみを連れて出かけてくれる人を、自身のホームページで募ったことが始まりでした。多くの反響があり、2013年に10人で団体を設立。ぬいぐるみを預けたいという人、旅をさせてあげたいという人、多くの人たちとのつながりが生まれました。仙台会員の社員、橋本智子さんは、ぬいぐるみ好きが高じて会員に。団体初、仙台巡回展の仕掛け人です。「忙しくても仙台での活動PRの役に立てた」と笑顔をこぼします。

写真を撮ったり、旅をしたり、自分の好きなことから団体の活動に関心を寄せてほしいです。

■連絡先

NPO法人日本ぬいぐるみ協会
TEL&FAX 045-534-9335
Mail info@nuigurumi.jp.net
HP nuigurumi.jp.net
月～金10:00～17:00

お役立ち本

ソーシャルメディア中毒
-つながりに溺れる人たち-

著者:高橋暁子 出版:幻冬舎エデュケーション新書

私たちの生活に欠かせないものとなったインターネットですが、「ネット依存」や「ネットいじめ」が大きな社会問題となっています。特に中高生を中心に、ネット上のつながりを求めてSNSに依存する若者が増えていっています。本書では、情報モラル教育に詳しい筆者が、SNSが及ぼす影響や危険性を紐解いています。社会を取り巻くSNSの実態を知り、安全に付き合っていくための方法を考えさせられます。



トクガキ

仙台市若林区の復興と地域おこしを応援しよう!
～ReRootsサポーター会員「りるサポ」募集中～

東日本大震災で津波被害を受けた若林区。復興から地域おこしに取り組むReRootsは、ReRootsファームで作った野菜や、若林区の農家で作った野菜を届け、活動を継続していくための支援金を集めています。支援金は、団体の活動費に活用されます。

支援コースなど詳細 http://reroots.nomaki.jp/reeroots_supporter.html

問い合わせ・申込み先:一般社団法人ReRoots

〒984-0033 宮城県仙台市若林区荒浜字今泉59-3

TEL 022-762-8211 Mail reroots311sup@gmail.com

